

試験研究機関における外部評価制度について

1 必要性

社会経済情勢の多様な変化、県民や産業界のニーズの多様化・高度化を踏まえ、今後、県立試験研究機関が県民生活に貢献し、地域産業の振興等により一層貢献するためには、外部有識者等による試験研究課題の評価の導入により、これらの変化、ニーズに的確に対応しながら、試験研究活動を充実・強化し、効率・効果的な試験研究を推進する必要がある。

2 効果

外部の有識者等による試験研究課題の外部評価を実施することにより、県民・産業界のニーズの的確な把握、県民への説明責任の確保、評価結果を反映させたより高度な試験研究を推進することができる。

3 評価制度の概要

(1) 評価の目的

- 多様化・高度化する県民や産業界のニーズの的確な把握と事業化につながる研究開発の推進
- 多様な助言による、研究職員の能力等が十分発揮できる研究環境の実現
- 限られた研究資源の効果的・効率的な活用
- 県民に対する説明責任の確保による県民の理解と支持の増大

(2) 評価対象とする試験研究課題の選定等

ア. 試験研究課題の評価対象及び評価対象外

原則として、試験研究機関で実施するすべての試験研究課題を対象とするが、次のいずれかに該当する試験研究課題については、評価対象外とする。

- 国、企業等から委託を受けて行う試験研究（委託元が全額負担するものに限る）
- 秘密保持義務契約（秘密保持義務を定めた協定等を含む）が締結されている共同研究
- 定型かつ継続的な試験研究であって、各評価専門部会において評価になじまないと認められたもの
- 国その他の公的機関において評価が実施される試験研究

イ. 評価の種類及び主な評価項目

評価の種類	主な評価項目
①事前評価 ※研究課題の選定時に研究課題の採択等について評価 (18年度実施課題から評価対象。17年度から導入)	○必要性 ○新規性・独創性 ○目標設定の妥当性・達成の可能性 ○試験研究計画の妥当性 ○試験研究成果の波及効果 ○実施体制の妥当性・効率性
②中間評価 ※研究課題の中間年度等に研究課題の継続等について評価 (18年度実施課題から評価対象。19年度から導入)	○試験研究の進捗状況 ○目標達成の可能性 ○社会経済情勢、県民、地域産業等のニーズの変化への適合性 ○試験研究計画、実施体制の妥当性・効率性
③事後評価 ※研究課題の終了後1年以内に研究課題の成果等について評価 (18年度実施課題から評価対象。19年度から導入)	○目標の達成度 ○試験研究計画、実施体制の妥当性・効率性 ○試験研究成果の有益性 ○試験研究成果の波及効果及び取扱い
④追跡評価 ※必要に応じ、事後評価終了から一定期間経過後、その後の波及効果等について評価	○試験研究成果の波及効果及び発展性 ○試験研究成果の取扱い状況

(3) 評価の実施主体

試験研究機関の課長級及び本庁関係課長級で組織する内部評価委員会で内部評価を行った後、愛媛県科学技術振興会議の下に、評価対象試験研究機関の試験研究分野に関し専門的知識を有する者など、外部有識者で組織する次の評価専門部会で外部評価を実施する。

評価専門部会	委員数	評価対象試験研究機関
衛生環境評価専門部会	6名	衛生環境研究所
産業技術評価専門部会	9名	産業技術研究所
農林水産評価専門部会	10名	農林水産研究所

※各評価専門部会は、必要があると認める場合は、委員以外の有識者等(アドバイザー)の参加を求めることができる。

(4) 評価結果の取扱い

評価結果を研究課題の選定、改善、中止等に適切に反映させるとともに、評価結果及びそれに基づいて講じた措置を、ホームページ等により一般に公開する。ただし、個人情報、企業秘密等の保護又は特許等の知的財産権に関わるものについては、公開しないものとする。

「評価専門部会」委員名簿（任期：令和5年4月1日～令和7年3月31日）

評価専門部会	氏名	所属
衛生環境 評価専門部会	舟橋 達也	松山大学薬学部教授
	森本 千恵	松山東雲短期大学教授
	高田 智世	愛媛県立医療技術大学准教授
	国末 達也	愛媛大学沿岸環境科学研究センター教授
	日鷹 一雅	愛媛大学農学部准教授
	斉藤 智子	自然環境教育えことのは理事長
産業技術 評価専門部会	八尋 秀典	愛媛大学理事・副学長
	福田 泰三	株式会社いよぎん地域経済研究センター主任研究員
	加藤 克巳	新居浜工業高等専門学校教授
	田尾 博明	産業技術総合研究所名誉リサーチャー
	藤井 文子	広島修道大学健康科学部教授
	内村 浩美	愛媛大学紙産業イノベーションセンター長
	武部 博倫	愛媛大学大学院理工学研究科教授
	丹後 佳代	株式会社丹後取締役
川崎 暁子	株式会社エルパティオ代表取締役	
農林水産 評価専門部会	和田 博史	愛媛大学農学部教授
	大程 幸子	愛媛県農業指導士会幹事
	近藤 路子	株式会社フードスタイル代表取締役
	橘 哲也	愛媛大学農学部教授
	中島 悦子	松山東雲短期大学講師
	上谷 浩一	愛媛大学農学部准教授
	矢野 陽子	株式会社クラス代表取締役
	高木 基裕	愛媛大学南予水産研究センター教授
	塩田 浩二	元県水産研究センター長
亀岡 恵子	松山東雲短期大学教授	